
編集後記

「comfort」には，“慰める”，“元気づける”，“励ます”などの意味がある。
人類における愚行のひとつである第二次世界大戦（World War II）において，各国の軍は「Comfort Woman」を設けていた．これについて様々な問題があることには，反論の余地はない．
吉田清治（吉田雄兎）氏は1977年以降，濟州島などで朝鮮人女性を軍令で強制連行したと告白証言を行い，その証言を1982年9月2日の朝日新聞は事実として報道した．これらの情報を参考に1996年のUnited Nations Commission on Human Rights（国際連合人権委員会）のクマラスワミ報告書から，日本軍の「Comfort Woman」だけが「Sex Slave」として世界的に認識されるようになり，日本人の名誉が大いに傷付けられた．
32年後の2014年8月5日に，朝日新聞はこれらの報道は誤報と認め，取り消した．
“間違っただけで知らせること”を，「誤報（misinformation）」という．
一方，“実際にはありもしない事柄を，事実であるかのように作り上げること”は，「捏造（fabrication）」という．
京都在宅リハビリテーション研究会誌の編集では，正しく用語を用い，「捏造」をSTOPすることを心がけている．

平成26年10月14日

京都在宅リハビリテーション研究会 世話人 代表 松本和久

京都在宅リハビリテーション研究会誌

第8巻

©平成26年12月17日発行

編集者	京都在宅リハビリテーション研究会事務局 (松本和久, 木村篤史, 富田健一, 永山智貴, 小西倫太郎, 神田佳明, 西村佳小里, 森川重幸, 堀田直樹)
発行者	松本和久 〒629-0392 京都府南丹市日吉町 明治国際医療大学附属病院 総合リハビリテーションセンター TEL (0771) 72-1221
印刷所	光和印刷